

# 社会科教育(小) 実技・理論 研修会 終了報告

テーマ	社会事象を公正に判断し、社会と主体的にかかわる力を育む学びの創造 ～社会科授業の改善～	
日時	令和 元年 7月 5日(金)	
会場	石狩教育研修センター	
講師	佐藤 正寿 氏 (肩書:) 東北学院大学文学部教育学科 教授	
参加者	18 名	
研修会 の 様子		<p>石社研の研究主題に即した話題を提供して下さった。特に、嫌いな子が増えてきているという社会科の授業改善について話して下さった。</p> <p>日々の授業にすぐに活用できる情報が満載であり、参加者のメモを取る手が止まらないほどであった。</p>
		<p>授業構成にかかわる話題では、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「えっどうして?」「考えてみたら不思議だ…」と切実感をもたせる学習課題の設定の重要性</li> <li>・見方・考え方を働かせるゆさぶり発問について</li> <li>・知る、わかる、考えるを取り入れた授業設計等のお話をいただいた。</li> </ul>
		<p>「1964年東京オリンピック」を題材にした模擬授業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催国地図を提示し、「夏季オリンピックはどのような国々で開催されてきたのか」を問い、開催されやすい理由について考えさせた。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かである</li> <li>・交通手段</li> <li>・治安がよい</li> <li>・開催への熱意 ……</li> </ul> </li> <li>・戦後たった19年で開催された東京オリンピックは、「華々しい発展を遂げた日本の、復興の象徴であった」とまとめた。</li> </ul>
		<p>講演で話されたことの具体的な姿を、模擬授業で見せてくださり、説得力のある内容となった。</p> <p>予定時間を過ぎても、参加者からの質問に熱心に答えてくださり、社会科部員にとって、大変有意義な講演会となった。</p>

